

教科名	工業（情報技術）科	科目名	製図		
履修学年	2 学年	履修	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	製図（実教出版 工業307） 基礎製図検定問題集（全国工業高等学校長協会）				
学習の目標	製図に関する日本工業規格および工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図・設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。				

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、読図・作図の技能を身につけている。	製図に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考えかたを的確に表現できる。	製図に関する事象に関心を持ち、意欲的に探求する態度を身につけようとする。
評価方法	製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解しているか 考査評価、課題プリント、学習活動により評価	考査評価、課題プリント、学習活動により評価	学習用具の準備授業への取り組み状況や態度、年間の考査評価、課題プリント、学習活動を総合評価

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学 習 内 容	学習活動・ねらい
1 学期	①平面図形のかきかた ②立体を平面で表す方法 ③品物の形状が一目でわかる方法 ④展開図	<ul style="list-style-type: none"> ・定規とコンパスを用いて、平面図形を正確にかけるようにする。 ・品物の形状を平面上に表す投影法について理解させる。 ・第三角法による投影を理解させる。 ・品物の形状をわかりやすく立体的に図示する方法として、キャビネット図と等角図のかきかたについて理解させる。 ・角柱・円柱・角すい台の側面の展開図のかきかたについて理解させる。
2 学期	①図形の表しかた ②品物の内部の表しかた ③大きさの表しかた ④図面	<ul style="list-style-type: none"> ・主投影図の選びかたを理解させる。 ・全断面図と片側断面図のかきかたを理解させる。 ・基本的な寸法記入の方法について理解させる。 ・直径・半径・円弧などの形状や加工方法を表す寸法記入の方法を理解させる。 ・図面の様式、図面をかく手順および図面の管理・保存について理解させる。
3 学期	①C A Dシステム ②二次元C A D	<ul style="list-style-type: none"> ・C A Dシステムの概要を理解させる。 ・C A Dシステムの構成および機能について理解させる。 ・C A Dシステムに関する規格について理解させる。 ・二次元C A Dによる作図の手順を理解させる。